

柳川喜郎（やながわ よしろう）氏 プロフィール

柳川喜郎氏は、名古屋大学法学部を卒業後、NHKに入局され、東京社会部、ジャカルタ支局、ニューデリー支局、解説委員などを経て、平成7年4月に岐阜県御嵩町の町長選挙に出馬し、当選されました。

柳川氏は、町長就任後に産業廃棄物処分場問題の詳細を知り、木曾川の汚染や水源の汚染を懸念され、産廃処分場計画を一時凍結した上で、平成9年6月に産廃処分場建設の賛否を問う住民投票を実施されました。

投票者数の8割が産廃処分場建設反対という結果を受けて、計画地内にある町有地を売却しないことを表明されました。

その後、岐阜県知事、御嵩町長、事業者との協議において、住民投票の結果が尊重され事業者が撤退することとなりました。

柳川氏は、産廃処分場計画を一時凍結した後の平成8年10月に二人組の暴漢に襲撃され、瀕死の重傷を負うという事件に合われました。しかし、暴力には屈しない姿勢に、全国から強い支持が寄せられました。

このように、柳川氏は産廃処分場問題において、御嵩町の環境保全のみならず、木曾川の恩恵を受ける流域の環境保全にも大きく貢献されました。

（平成29年11月西尾市環境部環境保全課作成）